

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「後世に残そう森・水・いのち」志賀高原森林再生事業
事業主体 (連絡先)	志賀高原から始まる市川海老蔵いのちを守る森づくり=ABMORI 実行委員会 (事務局 山ノ内町農林課 0269-33-3112)
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	9,838,853 円 (うち支援金: 3,611,000 円)

事業内容

1. 苗及び種子の採取活動
地元小学生と志賀高原を訪れる観光客と一緒に苗の採取及び育苗地への移植を実施。(H27.6.14 笠岳)
2. 育苗活動
東小学校にて志賀高原山内で採取したどんぐりによる育苗活動を実施した。(H27.10.19 東小学校)
3. 植樹活動
市川海老蔵氏協力のもと、育苗を行う小学生や全国からの参加者による閉鎖スキー場の森林再生のための植樹活動を実施。(H27.6.27 笠岳)



【6/27 植樹イベント】

【目標・ねらい】

- ① 町内小学生の環境教育受講者増
- ② 志賀高原新緑祭参加者の増
- ③ 地元産苗による森林再生
- ④ 閉鎖スキー場の森林再生

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 目標年度 H27 対 H26 比 150 名増 (計画 60 名)
- ② 目標年度 H27 対 H26 比 増減なし (計画 10%増)
- ③ 目標年度 H30 対 H26 比 1,000 本増
- ④ 目標年度 H30 対 H26 比 9,000 m²増

※地元小学生の継続的な環境学習プログラムの第1歩を踏み出すことができたことに加え、中野西高等学校生徒が植樹苗のモニタリング調査に参画することとなり、より多くの地域住民が志賀高原を環境学習の場として活用できることとなった。

※自己評価 【 A 】

【理由】

育苗活動に中野西高等学校生徒によるモニタリング活動が開始されるなど、地域住民の環境学習への積極的な参画が実現した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

苗の育成を継続し、植樹で使用する苗の育成を継続することで事業全体の予算縮減を図る。
また、本事業をきっかけとして中野西高校のモニタリング調査をスタートできた。
今後は目標を10年後に設定し、調査結果の蓄積と分析を行い、日本生態学会での高校生による研究発表を行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある